

桐生市・みどり市認知症ケアパス作成プロジェクト 第3回全体会議 次第

日 時：令和6年10月24日（木）19:00～

会 場：桐生メディカルセンター地下講堂

<配布資料>

次第、会議参加者名簿

資料1：第3回コア会議議事録

資料2：認知症ケアパス A4版 修正案

資料3：認知症ケアパスタイトル（案）

資料4：別冊：社会資源集 掲載リスト

資料5：試用アンケート

資料6：桐生・みどり地区認知症フォーラムチラシ

1 挨拶

2 配布資料確認

3 議事

(1) 認知症ケアパス A4版 修正案について

①掲載内容について

②デザイン（カラー及びイラスト、フォントの種類及びサイズ）について

③タイトル・サブタイトルについて

④別冊：社会資源集 掲載リストについて

(2) 試用アンケートについて

(3) 12/21開催 桐生・みどり地区認知症フォーラムへの参画について

4 今後のスケジュールについて

11月 上旬 認知症ガイドブック第1版 仮完成

中旬 認知症ガイドブック試用～アンケート送付

下旬 第4回全体会議

下旬 認知症ガイドブック 別冊：社会資源集 素案作成

12月 上旬 認知症ガイドブック第1版 完成

中旬 認知症ガイドブック 別冊：社会資源集 仮完成

12月21日 桐生・みどり地区認知症フォーラム（認知症ケアパスお披露目）

下旬 認知症ガイドブック 別冊：社会資源集 仮完成

桐生市・みどり市認知症ケアパス作成プロジェクト 会議参加者名簿

No.	氏名	所属	職種等	備考	第1回 全体会議	第1回 コア会議	第2回 コア会議	第2回 全体会議	第3回 コア会議	第3回 全体会議
1	高橋 厚	桐生市医師会	副会長	副委員長	○			○		○
2	前川 佳彰	桐生市医師会	理事	委員長	○			○		○
3	峯岸 康大	桐生市地域包括支援センター菱風園	社会福祉士	コアメンバー	○	○	欠	○	○	○
4	渡辺 幸恵	桐生市地域包括支援センター山育会	主任介護支援専門員 チームオレンジチューター	コアメンバー	○	○	○	○	○	○
5	梅澤 亜紀	みどり市地域包括支援センター東	保健師	コアメンバー	○	欠	欠	○	○	○
6	大嶋 桂子	桐生市社会福祉協議会	生活支援コーディネーター	コアメンバー	○	○	○	○	○	○
7	鈴木 美幸	みどり市社会福祉協議会	生活支援コーディネーター	コアメンバー	○	○	○	○	○	○
8	櫻井 栄太	群馬県介護支援専門員協会 桐生・みどり支部	介護支援専門員	コアメンバー	○	○	○	○	○	○
9	小沼 説雄	群馬県介護支援専門員協会 桐生・みどり支部	介護支援専門員	コアメンバー	欠	○	○	欠	欠	○
10	武井 祐介	桐生厚生総合病院 地域医療連携室	医療ソーシャルワーカー		○			○		○
11	山口 利佳	恵愛堂病院 地域医療連携室	医療ソーシャルワーカー		○			○		○
12	阪下 潤一	認知症疾患医療センター日新病院	連携室長	コア会議オブザーバー	○	○	○	○	欠	○
13	橋本 綾子	桐生厚生総合病院	認知症看護認定看護師		○			欠		○
14	堀米あすか	東邦病院	認知症看護認定看護師		○			欠		○
15	松井 泰俊	特別養護老人ホーム菱風園	認知症介護指導者 チームオレンジチューター	コア会議リーダー	○	○	○	○	○	○
16	中村 安孝	養護老人ホームサンロイヤル広沢	認知症介護指導者		○			○		○
17	石塚 幸子	桐生市健康長寿課	保健師	コアメンバー	○	○	○	○	○	○
18	鈴木 早苗	みどり市介護高齢課	保健師	コアメンバー	○	○	○	○	欠	○
19	小川 貴之	在宅医療介護連携センターきりゅう	管理者	事務局	○	○	○	○	○	○
20	香取 麻里	在宅医療介護連携センターきりゅう	認知症地域支援推進員	事務局	○	○	○	○	○	○
21	田村 伸子	在宅医療介護連携センターきりゅう	看護師	事務局	○	○	○	○	○	○
22	大崎由美子	在宅医療介護連携センターきりゅう	事務員	事務局	-	-	-	-	-	-

(敬称略)

桐生市・みどり市認知症ケアパス作成プロジェクト 第3回コア会議議事録

日 時：令和6年9月12日（木）14:00～16:15

会 場：桐生市総合福祉センター102 会議室

<参加者> 11名（別紙参加者名簿参照）＋実習生2名

<司会> 松井さん

1 挨拶：松井さん

最後のコア会議になり、今日である程度形にしていくことになる。前回までの会議とすり合わせしながらすすめていきましょう。

2 配布資料確認：小川

3 議事

(1) 認知症ケアパス A4 版素案について…小川

① 各ページの掲載内容について（前回までの会議を踏まえ、各ページについて文言を確認、内容を確定していく）

*修正点 ・ご意見 ◎まとめ

表紙

*文字はゴシック体を使用（ユニバーサルデザイン）タイトルのデザインにあわせ修正していく。

目次は残し、フレームははずす予定。

・タイトルはどう決めるのか？→メンバーのみなさんからご意見いただき、次回会議にはタイトルの入ったものを準備する予定。

認知症の基礎知識 P1-2

*中核症状、周辺症状を入れ、診察時説明しやすくする

*グラフの追加（2023年認知症初期集中支援チーム員研修テキストのものをいれる）

*グラフと説明の色をあわせ見やすく、説明しやすくしている

・軽度認知障害（MCI）の説明を入れるかどうか

→今後増えていくことを考慮すると入っていた方が使いやすい

・認知症の説明は1ページにまとまっていた方がよい … P2へまとめている

◎MCIの簡単な説明であれば入れられる。若年性認知症の枠を半分使用することを考えている

・中核症状、周辺症状の前に「認知症とは」のリード文を入れると流れがよい

（診察時説明しやすい）

・文字の多さが気になる → 取っ掛かりやすいものがあると次に読み進めやすい

(イラストを入れる等)

- ・「認知症ともの忘れの違い」「認知症と間違われやすい病気」も入れたい
- ◎各説明の枠、文字が小さくなる可能性あり。文字の大きさを考慮し、どこまでの情報を入れていくかを考える

- ・新たに入れた「中核症状とは、周辺症状とは」の文面について
神経細胞が壊れる→別の言い回しへ
記憶障害 →P9に「記憶力の低下」の記載あり。「記憶力の低下」に統一する

◎P1:「リード文」「中核症状、周辺症状」「グラフ」「認知症ともの忘れの違い」

P2:「認知症の説明」(MCIも含む)

◎「認知症ともの忘れの違い」の外枠については、デザイン上で調整可能

◎イラストも入れてみる

チェックリスト P3

- * 変更出来ないものなのでイラストを入れて完成としたい

フローチャート P4

- * 上段 内を箇条書きに変更したことで、矢印が一方方向となったため
優先度の高い左側から、地域包括支援センター・かかりつけ医・在宅医療介護連携センターと位置を変更
- * 青文字はデータ上では、リンクできるようにしている

早期受診のススメ P5

- * タイトル「早期診断」の削除
- * 文面中早期の多用 → はやめに

- ・ 医師より：これをきっかけにしてほしい
家族だけの相談も実際あるのでいいと思う

◎「早期」かたい印象なのでやわらかい雰囲気になるような言葉で（早めに などがよい）

◎診断は医師が行うので、早期受診のススメにする

受診のポイント P6

- * 「症状」を使わず、文面の調整をした
- * レイアウトを大きく変更
自由欄：上部に移動し前回より記載欄を大きくする
文面を「医師に伝えたいこと、心配なことや不安なことをご記入ください」へ変更
症状記載欄：下部へ移動し欄を1段削る（大きさは？）質問形式へ表現を変える

- ・配置はよい
- ・症状記載欄の「何時頃のことですか」は右側に移動。必要な時だけチェックを入れられるような形にする（無理に書かなくてもいいように）
- ・初期の相談で、時間帯のことは大きな要素ではないので、記載欄「何時頃のことですか」は削除してもよいのではないか
- ・気にする方は記入欄に記載するので、記載欄が広い方がよい

◎「何時頃のことですか」は削除する。医療職の意見も確認し決定する。

◎「受診時のポイント」下部リード文について

「気になること、大変なことをまとめておきましょう」を削除し、イラスト部分の「医師に普段の様子を伝えることが重要です」を移動する

認知症ケアパス P7-8

*変更項目

医療： かかりつけ医は初期から中期以降までかかるため、バー形式へ変更
位置の検討

住まい： 入所も含め、「自宅以外に住み替える」にまとめる

介護者・家族：介護者をヘルパーと想像してしまうのですべて「家族」とする

◎「症状」→ 言い方がかたいので「本人のようす」へ変更

◎「家族」→ 家族と断定してよいのか。身寄りのない方の場合はどうするのか
検討の結果「家族など」へ変更

・項目の順番について

◎1.本人のようす 2.家族など 3.社会参加 4.見守り 5.医療 6.介護 7.住まい 8.その他
→全体会議で確認

・「サービス早見表」「どんなサービスがあるのか確認しましょう」はなくてもよいのではないか
サービスの言葉は誤認される可能性あり

◎「サービス早見表」「どんなサービスがあるのか確認しましょう」を削除、下段に掲載の「ケアパスとは」、QRコードを移動する

◎表紙の目次、「認知症ケアパス（サービス早見表）」の（サービス早見表）を削除する

認知症の症状とまわりの人が心がけること P9

*前回の P9-10 を 1 ページに集約し P9 へ

前回の P11 を P10 へ記載

*家族視点での表現にしている

- ・書き方の表現について

言い切るとやわらかくならない、ヒントを散りばめる

◎最後の文脈を「〇〇が大切です」と揃えて作成し、表現を工夫してみる

認知症の人への接し方のポイント P10 認知症サポーター養成講座テキストより抜粋

◎吉村医師よりアドバイス：リード文は不要 → リード文を削除した

◎現状のものを使用

予防について P11 水戸市認知症ケアパス参照し、桐生・みどりの資源をいれている

◎吉村医師よりアドバイス：「予防」は漠然としているので「進行予防」がよいのではないかと

→「進行予防について」へ変更

◎今回の修正したもので、認知症認定看護師より助言をいただく

→専門職の意見で、若干の変更の可能性あり

本人の声 P12

*裏表紙のものを移動

*ぐんま希望大使である橋本さん、ご家族に確認、詳細は後日調整となる

(写真掲載、インタビュー、署名等)

・励まし、ケアパス説明に使えるものとなる

桐生市・みどり市の認知症について相談窓口一覧 P13-14

◎両市担当地区の確認

→今年度と来年度で変更となるので、再度確認する

◎見やすくするため、センター名の欄（センター名、電話、住所）内側の罫線を消す

裏表紙

◎プロジェクトチームの名前を入れることも可能

→入れずにシンプルに仕上げる

② 配色及びデザインについて

◎やわらかいイメージで

・文字：今使っている文字がやわらかくて見やすい

→このゴシックを使用する（ユニバーサルデザイン）

・色味：若草色に白を足してデザインしている 印刷機で色が変わる可能性あり

→全体会議で色味チェックしていく

ページで色を変えられる

P1-2 グラフに色が入るので背景色はなし、または薄く色を入れる

リンクに飛ぶサイトは青色となる

- ・タイトルの文字は大きく
- ・中ページのタイトルの文字フォントのバランス調整

◎イラストについては事務局に一任させていただく

③ その他

- 1) 第3回会議を経て修正後、使用、活用してもらい、ご意見をいただく
→アンケート（チェック表）を作成し必要に応じ使用后チェックしてもらい修正する
- 2) タイトルの募集 … ひとり1点以上 締め切りはメールでお知らせする
第3回全体会議で協議する（メイン・サブタイトル）

(2) 認知症ケアパス 別冊：社会資源集について

松戸市ガイド附属ブックを参照に作成する

- ・項目に沿った形で作成 リンクで代用
リンクできないものあり
- ・エリアごとのサービス、距離感、マッチングのしやすさ … 掲載されているとよい
- ・医療と介護のお助けマップとの連携を相談している

4 その他

(1) 第3回全体会議の開催について

日程：令和6年10月24日／19:00～（予定）

会場：桐生メディカルセンター地下講堂（予定）

文責 田村

タイトル

～サブタイトル～



キノピー

みどモス

認知症の基礎知識	P1～2
「認知症」早期発見のめやす	P3
相談フローチャート	P4
早期診断のススメ	P5
受診時のポイント	P6
認知症ケアパス	P7～8
まわりの人が心がけること	P9
接し方のポイント	P10
進行予防について	P11
ご本人の「声」	P12
認知症について相談できる窓口	P13～14

認知症の基礎知識

認知症とは、脳の病気や障害などにより、認知機能が低下し日常生活全般に支障が出てくる状態(およそ6か月以上継続)をいいます

中核症状とは

脳の神経細胞が損傷することにより直接起こる症状
→認知症になると誰にでも**現**れる

記憶力の低下、問題解決能力の低下、判断力の低下など

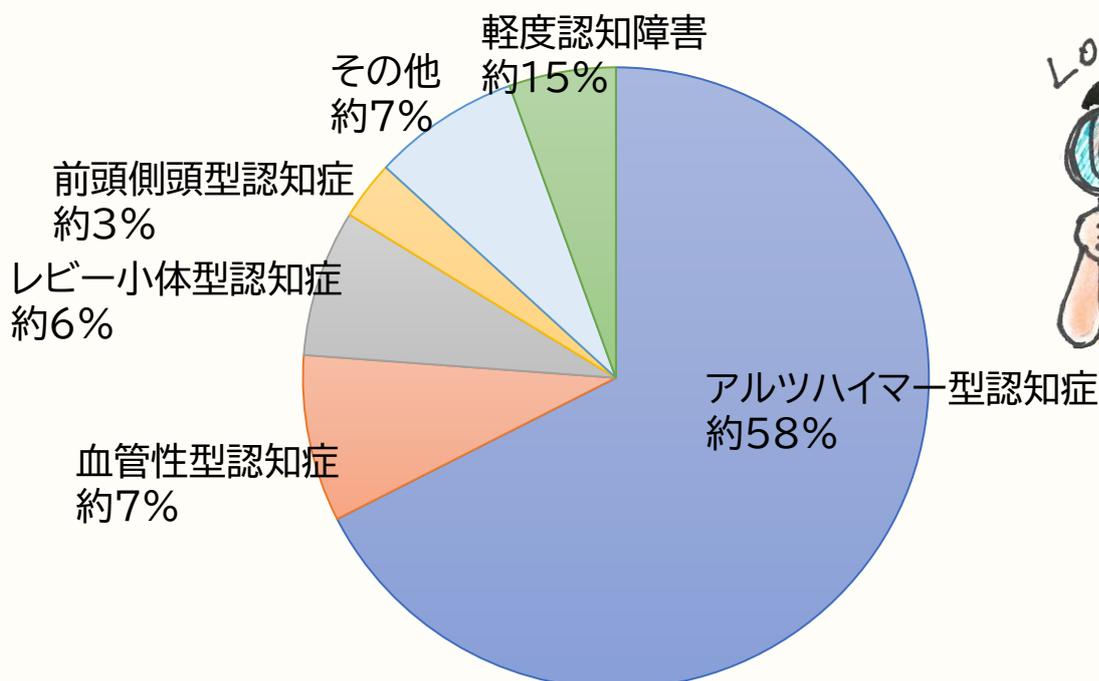
周辺症状(行動・心理症状)とは

おかれている環境や周囲の人との関わりのなかで起きてくる症状
→**現**れ方には個人差がある

暴力や暴言、興奮、妄想、徘徊、物盗られ妄想など

認知症ともの忘れの違い

もの忘れ		認知症
体験の一部を忘れる	⇔	体験の全部を忘れる
食事のメニューを思い出せない	⇔	食事を食べたことそのものが思い出せない
テレビに映っている芸能人の名前が思い出せない	⇔	目の前の人が誰なのかわからない
ヒントがあると思い出せる	⇔	ヒントがあっても思い出せない



アルツハイマー型認知症

症状の特徴

- 同じことを何度も聞く
- 物事の段取(食事の準備など)が悪くなる
- 日にちや曜日がわからなくなる
- スイッチの消し忘れが増えるなど

血管性認知症

症状の特徴

- 不安になる、意欲が低下する
- もの忘れがあるが、しっかりしている(まだら認知症)
- 突然泣いたり笑ったりする
- 手足の麻痺や歩行障害がでるなど

レビー小体型認知症

症状の特徴 抑うつ状態?

- 子どもや虫が見えると言う
- 夢を見て大声を出す
- 寝ぼけて起き出す
- 動作がゆっくりになったり、筋肉がこわばる など

前頭側頭型認知症

症状の特徴

- 毎日同じ時間に同じ行動をする
- 同じ食べ物を際限なく食べる
- 周囲のことを気にせず自分勝手な行動が目立つ
- 万引きや信号無視などのルール違反をする など

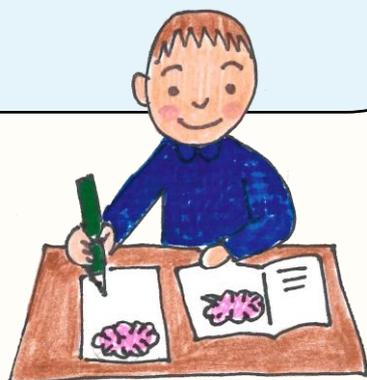
その他

認知症と似た症状がでる病気として、

- ・正常圧水頭症
- ・慢性硬膜下血腫
- ・高齢期のうつ病
- ・脱水による意識障害

などがあげられます。

治療により症状が改善する可能性があります。



若年性認知症

65歳未満で発症した認知症のことを指します。現役世代での認知症の発症は、仕事や経済などにも大きな影響があります。

軽度認知障害

正常な状態と認知症の間であり、認知機能の低下は見られるものの、日常生活には支障がない状態を指します。

「認知症」の早期発見のめやす

出典：  公益社団法人
認知症の人と家族の会

日常の暮らしの中で、認知症ではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。

いくつか思い当たることがあれば、[専門家に相談してみる](#)とよいでしょう。

●もの忘れがひどい

- 1 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 2 同じことを何度も言う・問う・する
- 3 しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 4 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う



●判断・理解力が衰える

- 5 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 6 新しいことが覚えられない
- 7 話のつじつまが合わない
- 8 テレビ番組の内容が理解できなくなった



●時間・場所がわからない

- 9 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 10 慣れた道でも迷うことがある

●人柄が変わる

- 11 些細なことで怒りっぽくなった
- 12 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 13 自分の失敗を人のせいにする
- 14 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた



●不安感が強い

- 15 ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 16 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 17 「頭が変になった」と本人が訴える



●意欲がなくなる

- 18 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 19 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- 20 ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

早期に相談することが重要です

早期に相談を行うことで、症状の進行を遅らせる、ご本人・ご家族の不安の軽減、生活の質の維持向上など認知症に対する効果的な対応が期待できます。

- どこの病院にいけばよいかわからない。
- もの忘れが多くなった。認知症かもしれない。
- 家族や友人が認知症かもしれない。



桐生市地域包括支援センター
みどり市地域包括支援センター

[P13-14相談窓口参照](#)

認知症を含む、福祉や介護に関する総合的な相談窓口です。
介護保険サービスの利用手続きもお手伝い致します。



かかりつけ医
(主治医)

かかりつけ医がいない場合は地域包括支援センター等にご相談ください。



在宅医療介護
連携センターきりゅう

☎ [0277-32-5222](tel:0277-32-5222)

医療や介護に関する相談窓口です。
受診先(医療機関)に関する情報提供も行います。



認知症疾患医療センター日新病院

認知症疾患医療センターは、群馬県知事に指定された認知症の医療相談や診察を行う「専門」の医療機関です。
認知症の診断、MRIやCTによる画像診断、精神保健福祉士による専門医療相談を行っています。
また、若年性認知症の人とそのご家族のための窓口も設置しています。

<市役所>

桐生市役所健康長寿課

☎ [0277-44-8215](tel:0277-44-8215)

みどり市役所介護高齢課

☎ [0277-76-0974](tel:0277-76-0974)

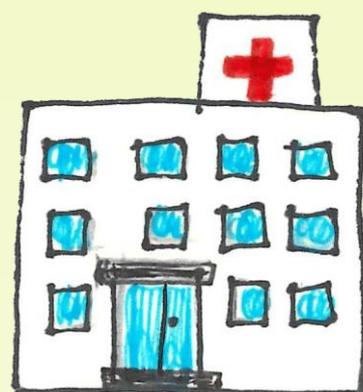
早期受診のススメ

最近忘れっぽいなあ、なんかおかしいなあと思っても、「歳のせいかな」と考えてしまい受診されない方がほとんどです。

他の疾患同様に「あれ、なにか変だな」と思ったら、まずは受診することをお勧めします。受診が早めであればあるほど、安定した症状を保つことができる可能性があります。

早期受診のメリット

- 早めの受診を行うことで、適切な時期に治療を開始することができ、症状を軽減できる可能性があります。
- 本人が自分のことを自分で決められる時間が長くなります。



かかりつけ医・主治医の存在

- かかりつけ医は普段から本人や家族のことを知っています。
- 必要に応じて「専門医療機関」の紹介も行ってくれます。
- 本人の受診が難しい場合、ご家族だけでも「相談」することができます。

桐生市・みどり市には認知症サポート医がいます

認知症サポート医とは、認知症の診療に習熟し、認知症患者やその疑いがある人を早期に医療や介護につなげる役割を担う医師です。

認知症サポート医養成研修について - 群馬県ホームページ(介護高齢課)

※認知症サポート医研修修了者名簿が掲載されています

左にずらした

<https://www.pref.gunma.jp/page/2147.html>



受診時のポイント

医師に「**普段の様子**」を伝えることが重要です！



- いつごろから変化があらわれたか
- どのような変化だったのか
- 日や時間によって変化があるか
- 大変なことはどんなことなのか など

医師に伝えたいこと、心配なことや不安なことをご記入ください

--

いつ頃のことですか	気になったことはなんですか
(例) 令和6年8月頃	(例) 忘れっぽくなり、日付を間違えるようになった

認知症ケアパス



社会資源の詳細は 別冊：
社会資源集をご参照ください。

	初期		
本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・もの忘れが多くなる ・同じものを買ってくる ・勘違いや同じくことを繰り返して言う ・日付や曜日を間違える ・家事や計算などのミスが多くなる 		
家族など	行政に相談 <ul style="list-style-type: none"> ・桐生市健康長寿課 ・みどり市介護高齢課 ・認知症地域支援推進員 	専門職に相談 <ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医 ・地域包括支援センター ・ケアマネジャー 	家族の居場所 <p>本人・家族が参加できる集い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェ、日新カフェ ・本人ミーティング
社会参加	地域活動 <ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動 ・サロン活動 ・町会の活動・イベント 	運動 <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操 ・介護予防教室 ・市オリジナル予防体操 	つどいの場所 <p>本人・家族が参加できる集い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェ、日新カフェ ・本人ミーティング
見守り	地域での見守り <ul style="list-style-type: none"> ・家族の見守り ・友人や近所の見守り ・民生委員・児童委員 	見守り活動・サービス <ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動 ・地域包括支援センター ・チームオレンジ 	安否確認 <ul style="list-style-type: none"> ・配食サービス ・高齢者見守りシステム ・市が配信するメール
医療	かかりつけ医 / 訪問診療・往診 ・相談 ・検査 ・診断		
	認知症初期集中支援チーム		
介護	介護保険に該当しない人 <ul style="list-style-type: none"> ・通いで運動や交流をする ・訪問で家事などを手伝ってもらう 生活状況確認をしてもらう 	介護保険 要支援1~2の人 <ul style="list-style-type: none"> ・通いで運動をして元気を保つ ・訪問で家事手伝いやリハビリ ・福祉用具(杖や歩行器など) 	
住まい	自宅で暮らす <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターに相談する ・福祉用具を買う・借りる ・住宅改修をしてバリアフリー化 	自宅以外に住み替える <ul style="list-style-type: none"> ・家族と一緒に住む(生活する) ・家族の近くに転居して生活する ・グループホームで生活をする 	
その他	書類やお金の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスの利用援助 ・日常的金銭管理サービス ・書類等預かりサービス 		

<認知症ケアパスとは>

ご本人の認知症の進行状況、症状にあわせてどのようなサービスや社会資源があるのかを確認する早見表です。適切なサービスの選択、適切な機関へ相談できることを目的としています。

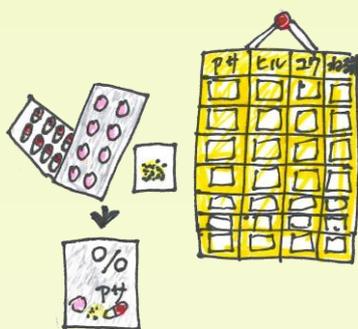
中期	中期以降	
<ul style="list-style-type: none"> ・食事したことを忘れる ・しまった場所を忘れる ・約束や予定を忘れる ・季節に合わない服を着る 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や友人のことがわからなくなる ・自分で決めることができなくなる 	
の場	<h3>家族支援のサービス</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・介護者の集い ・認知症の人と家族のための電話相談(認知症の人と家族の会) ・おむつ等の支給/介護慰労金の支給 	
の場	<h3>介護保険などを使用しての外出</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・通い(半日・1日)のサービスを利用して外出 ・泊りのサービスを利用して外出 ・介護タクシーなどを活用して外出 	入所施設でも外出の機会があります
<h3>認知症高齢者の安全対策</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・GPSを使用した探索システム(行方不明になったときに位置情報をお知らせします) ・緊急通報システム(簡単な操作で消防署に連絡をすることができます) ・高齢者の見守りシール(QRコードを読み込むと登録された連絡先に通知されます) 		
<h3>認知症疾患医療センター</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な検査 ・専門的な診断 		
<h3>介護保険 要介護1~2の人</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・通いで入浴を行う、運動を行う ・訪問で家事手伝い ・泊りで生活リズムを整える、家族が疲れをとる ・福祉用具(歩行器や介護用ベッド) 	<h3>介護保険 要介護3~5の人</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・通いと泊りを両方利用する ・福祉用具(介護用ベッド、見守り用品) ・施設入所を考える 	
<h3>自宅で暮らす</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーに相談する ・介護保険サービスを利用しながら自宅で生活をする 	<h3>自宅以外に住み替える</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム、介護付き有料老人ホームなどで生活する 	
<h3>財産の管理・契約の代行</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・財産管理(不動産や預貯金などの管理、遺産分割協議などの相続手続など) ・身上保護(介護・福祉サービスの利用契約や施設入所・入院の契約締結、履行状況の確認など) 		

認知症の症状とまわりの人が心がけること

認知症になっても、ある日突然全てのことがわからなくなったりできなくなるわけではありません。

できることとできないことがあり、失敗をすると不安に感じることもあると思いますが、家庭や社会での役割は沢山あります。

まわりの人の関わり方次第で自分らしく生きていくことができます。



時間や曜日を
間違いやすくなります

朝と夜を勘違いしてしまったり、曜日がわからなくなったりします。新聞やカレンダーなどを活用することが大切です。(薬の管理やゴミ出しなど)



ちょっとしたことで
落ち込みがちになります

誰でも失敗したり、できないことがあると嫌なものです。「できないこと」よりも、「できること」に目を向けることが大切です。

記憶力の低下が
目立つようになります

忘れたり、思い出せないことが多くなりますが、記憶の全てを忘れてはいるわけではありません。覚えていることを大切にしましょう。



判断力や思考力が
低下します。

何かを決断するのに時間がかかるようになります。急がず、ゆっくりと考えてもらうことが大切です。



認知症の人への接し方のポイント

①まずは見守る

さりげなく様子を見守ります

②余裕をもって対応する

落ち着いて自然な笑顔で接します

③声をかけるときは一人で

なるべく、一人で声をかけます

④背後から声をかけない

ゆっくり近づいて本人の視野に入ったところで声をかけます

⑤やさしい口調で

目の高さを合わせ、やさしい口調を心がけます

⑥おだやかにはっきりした口調で

ゆっくり、はっきり話すようにします

⑦会話は本人のペースにあわせて

いっぺんに複数の問いかけをしないように気をつけます



認知症サポーター養成講座標準教材
「認知症を学びみんなで考える」より抜粋

進行予防について

生活リズムを整えることで、認知症の発症を予防できる可能性があり、また進行をゆるやかにできる可能性があると言われています。

生活リズムを整え、特に運動・食事・交流を意識的に実施することで生活習慣病(高血圧症や糖尿病など)にも効果があると言われています。

運動



ちよつとでも
いいので
お散歩を



ラジオ体操を
しましょう

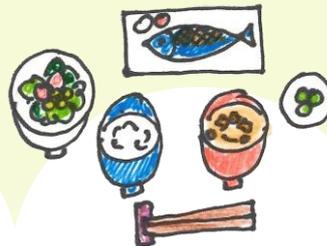


元気おりおり
体操
かがやき体操

食事



肉も魚も
野菜も
バランスよく



毎日3食
食べましょう

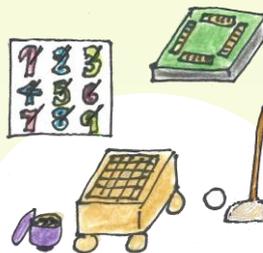


こまめな水分
補給を

交流



ご近所さんと
顔をあわせま
しょう



サークル活動
で趣味活動を



高齢者サロン
などで会話を
楽しむ

ご本人の「声」

－自己紹介をお願い致します

(回答)

－認知症と診断を受けたときはどんな気持ちでしたか

(回答)

－診断を受け生活をしている、「今」の心境を教えてください

(回答)

－奥さんにお聞きします。診断を受けたときの心境と、今の心境を教えてください。

(回答)

－診断を受けて何か不便と覚えることはありますか

(回答)

－趣味や楽しみにしていることを教えてください

(回答)

－これから認知症と診断されるかもしれない方にメッセージをお願いします

(回答)



写真は(仮)

ぐんま希望大使
橋本好夫さんと奥さん

橋本 好夫

橋本さんはぐんま希望大使として活動しています！

<ぐんま希望大使とは>

群馬県が認知症の理解の促進と認知症の人本人からの発信のため県内在住の方に委嘱しています。

認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく人生を謳歌して暮らし続けることができ、地域で暮らす人々が認知症の当事者からの発信を通して、認知症に対する理解を深めるための活動を行います。

桐生市・みどり市の認知症に

桐生市地域包括支援センター

センター名	担当地区
桐生市地域包括支援センター山育会 電話: 0277-46-6066 住所: 桐生市東久方町2-4-33	本町、横山町、永楽町、小曾根町、宮本町、東久方町、西久方町、天神町、平井町、梅田町
桐生市地域包括支援センター社協 電話: 0277-46-4411 住所: 桐生市新宿3-3-19	稻荷町、錦町、織姫町、美原町、清瀬町新宿、三吉町、小梅町、琴平町、浜松町末広町、宮前町、堤町、巴町、元宿町
桐生市地域包括支援センター菱風園 電話: 0277-32-3321 住所: 桐生市菱町1-3016-1	仲町、川岸町、泉町、東町、高砂町、旭町、東、菱町
桐生市地域包括支援センターユートピア広沢 電話: 0277-53-1114 住所: 桐生市広沢町6-307-3	境野町、広沢町、広沢町間の島、桜木町の一部
桐生市地域包括支援センター思いやり 電話: 0277-32-5889 住所: 桐生市川内町1-361-2	川内町
桐生市地域包括支援センター思いやり黒保根 電話: 0277-46-8847 住所: 桐生市黒保根町水沼562-3	黒保根町
桐生市地域包括支援センターにいさと 電話: 0277-74-3032 住所: 桐生市新里町新川2488	新里町
桐生市地域包括支援センターのぞみの苑 電話: 0277-54-9537 住所: 桐生市相生町5-493	相生町、桜木町の一部
桐生市地域包括支援センター〇〇 電話: 0277- 住所: 桐生市〇〇	

桐生市役所



キノピー

桐生市役所 健康長寿課
電話: [0277-44-8215](tel:0277-44-8215)
住所: [桐生市織姫町1-1](https://www.city.kiryu.lg.jp/cho/cho11/)

新里支所 市民生活課
電話: [0277-74-2211](tel:0277-74-2211)
住所: [桐生市新里町武井693-1](https://www.city.kiryu.lg.jp/cho/cho693-1/)

黒保根支所 市民生活課
電話: [0277-96-2111](tel:0277-96-2111)
住所: [桐生市黒保根町水沼182-3](https://www.city.kiryu.lg.jp/cho/cho182-3/)



お気軽に
ご相談ください

ついて相談ができる窓口一覧

みどり市地域包括支援センター

センター名	担当地区
みどり市地域包括支援センター笠懸 電話: 0277-47-7551 住所: みどり市笠懸町鹿250	笠懸町
みどり市地域包括支援センター大間々 電話: 0277-47-7552 住所: みどり市大間々町大間々1511	大間々町
みどり市地域包括支援センター東 電話: 0277-47-7553 住所: みどり市東町花輪114-3	東町

みどり市役所



みどモス

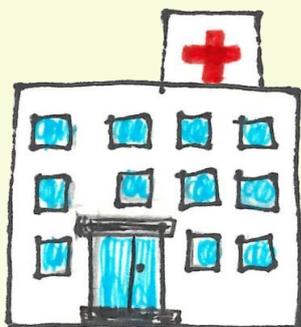
みどり市役所 介護高齢課
電話:[0277-76-0974](tel:0277-76-0974)
住所:[みどり市笠懸町鹿2952](#)

大間々市民生活課
電話:[0277-76-1846](tel:0277-76-1846)
住所:[みどり市大間々町大間々1511](#)

東支所 東市民生活課
電話:[0277-76-0984](tel:0277-76-0984)
住所:[みどり市東町花輪205-2](#)



最寄りの相談窓口にご相談ください



群馬県認知症疾患医療センター日新病院

電話:[0277-30-3660](tel:0277-30-3660)
住所:[桐生市菱町3-2069-1](#)

在宅医療介護連携センターきりゅう (認知症初期集中支援チーム)

電話:[0277-32-5222](tel:0277-32-5222)
住所:[桐生市元宿町18-2桐生メディカルセンターB1F](#)



令和6年12月 初版発行

制作: 桐生市・みどり市認知症ケアパス作成プロジェクトチーム
挿絵: 桐生市地域包括支援センターのぞみの苑 齊藤 里江子

桐生市・みどり市認知症ケアパス タイトル案

1. 「あなたらしい人生を送るために」
2. 「生きる」を応援する
3. 認・知・症～あれっ？と思ったら～
4. わたしのおもい ～認知症になっても自分らしく生きる～
5. 「つなぐ・つながる」－介護で孤立しないため－
6. 桐生市・みどり市認知症かも？と思ったら時によむガイドブック
7. 「わたしらしく生きる(ために)」
8. 「みんな(が)つながる」
9. (認知症)支え合い 安心ガイド
10. (認知症)あんしん 寄り添いガイド
11. (認知症)ホットサポートガイド
12. (認知症)あんしんナビ
13. (認知症)ヘルプナビ
14. (認知症)るんるんガイド
15. 「認知症とともに」～認知症あんしんガイド～
16. みんながみんなの応援～私たちのつながりガイドブック
17. 認知症になっても私なの～みんなのつながりガイドブック
18. 「スマイル」～認知症とともに生きる～
19. 「道しるべ」～認知症とともに生きる～
20. 「わたしのねがい」～認知症になっても安心してらせる地域へ～
21. 「わたしのねがい」～認知症と共に生きる～

- 1 相談窓口
 - (1) 行政（桐生市・みどり市）
 - (2) 認知症地域支援推進員→連携センターへリンク
 - (3) かかりつけ医→医院一覧リンク
 - (4) 地域包括支援センター（解説）
 - (5) ケアマネジャー（解説）→行政へリンク
- 2 家族の居場所・つどいの場所
 - (1) オレンジカフェ（認知症カフェ）→行政へリンク
 - (2) 日新カフェ
 - (3) 本人ミーティング
- 3 地域活動
 - (1) サークル活動→公民館へ誘導
 - (2) サロン活動→
- 4 運動
 - (1) ラジオ体操
 - (2) 介護予防教室→行政へリンク
 - (3) 元気おりおり体操・かがやき体操→行政へリンク
- 5 民生委員・児童委員→行政へリンク
- 6 見守り活動→社協へリンク
- 7 安否確認→行政へリンク
 - (1) 配食サービス
 - (2) 高齢者見守りシステム
 - (3) ふれあいメール、みどり市防災・防犯情報メール
- 8 認知症初期集中支援チーム→行政へリンク、連携センターへリンク
- 9 介護保険→行政へリンク
- 10 日常生活自立支援事業所→社協へリンク
- 11 成年後見制度→行政へリンク
- 12 家族支援
 - (1) 介護者のつどい
 - (2) 認知症の人と家族のための電話相談→認知症の人と家族の会へリンク
 - (3) おむつ等の支給→行政へリンク
 - (4) 介護慰労金の支給→行政へリンク
- 13 安全対策→行政へリンク
 - (1) GPSを使用した探索システム
 - (2) 緊急通報システム
 - (3) 見守りシール
- 14 自宅以外に住み替える
 - (1) グループホーム
 - (2) 特別養護老人ホーム
 - (3) サービス付き高齢者向け住宅→県へリンク
 - (4) 住宅型有料老人ホーム→県へリンク
 - (5) 介護付き有料老人ホーム→県へリンク
- 15 その他
 - (1) 認知症サポーター養成講座→行政へリンク
 - (2) 認知症ガイドブック→連携センターへリンク
 - (3) 認知症ガイドブック 別冊：社会資源集→連携センターへリンク
 - (4) 運転免許の返納について→行政へリンク

アンケートご協力をお願い

「桐生市・みどり市 認知症ガイドブック」をよりよいものとしていくために、皆さまのご意見をお聞かせください。

①説明をしているとき(受けているとき)に、気になるところがありましたか

・あった ・なかった

↓

気になったところを教えてください

②見やすさはいかがでしたか

・とても見やすい ・見やすい ・普通 ・見にくい ・とても見にくい

③(6 ページ)記入しづらいところがありましたか

・あった ・なかった

↓

記入しづらかったところを教えてください

④ガイドブックを使用して説明した(説明を受けた)感想を聞かせてください
(冊子のサイズ、文字の大きさ、掲載内容など)

令和6年度

桐生・みどり地区 認知症フォーラム

令和6年1月に認知症基本法が施行され、今年度は桐生市・みどり市も認知症施策を重点においた事業展開をしています。その一環として地域で認知症に関わる活動をされている団体の皆さまから直接、お話を伺える機会として企画しました。

参加費
無料

日時：令和6年 **12月21日(土)**

10:00~11:30 (9:30~受付開始)

会場：美喜仁桐生文化会館（旧：桐生市市民文化会館）
スカイホール

対象：認知症について興味のある方ならどなたでも
※手話通訳・要約筆記が必要な方は事前にご相談ください。

定員
100名

第1部 基調講演

テーマ：認知症について

講師：北川内科クリニック
副院長/認知症サポート医
北川 隆太 先生

第2部 パネル ディスカッション

「桐生・みどり地区の
地域活動について語る」

<桐生市>

- ・なかよしカフェ：代表 蛭間 好江 氏
- ・紡～tsumugu～：隊長 秦 一男 氏

リーダー 二宮 好子 氏

<みどり市>

- ・回想法グループ：会長 横田 勇 氏
- ・おせっ会：会長 大澤 多計志 氏
事務局 星野 一雄 氏

認知症ケアパス
配布します♪

おみやげ

認知症ケアパスお披露目

桐生市健康長寿課 / みどり市介護高齢課
石塚 幸子 氏 鋤木 早苗 氏

申込方法：ファックス・電話・申込みフォーム（裏面をご参照ください）

問 合 先：在宅医療介護連携センター きりゅう

TEL (0277) 32-5222 FAX (0277) 32-5223

桐生市役所 健康長寿課 長寿支援係/みどり市役所 介護高齢課 高齢福祉係

TEL (0277) 44-8215 (直通) TEL (0277) 76-0974



主催：桐生市/みどり市/在宅医療介護連携センターきりゅう
協力：桐生市・みどり市認知症ケアパス作成プロジェクト

【申込先】 F A X : 0 2 7 7 - 3 2 - 5 2 2 3

認知症フォーラム 申込み

<受講対象者>

認知症について興味のある方ならどなたでも

<申込方法>

ファックス、電話、申込みフォーム（右記コード・下記URL）からお申込みください。

URL : <https://forms.gle/uhLQKIHM9bzUkKJD8>



[申込みフォームはこちら](#)

<申込先・お問合せ先>

在宅医療介護連携センターきりゅう

TEL (0277) 32-5222 FAX (0277) 32-5223

MAIL: info@renkei-kiryu.org

日時: 令和6年12月21日(土) 10:00~11:30 (受付9:30~)

会場: 美喜仁桐生文化会館(旧: 桐生市市民文化会館) スカイホール

<参加申込書>

※手話通訳・要約筆記が必要な方は事前にご相談ください。

(フリガナ) 氏名	年齢	性別	住所	電話番号
		男・女		

皆さまのご参加をお待ちしております♪